

## 第1回 岩倉市子ども・子育て支援事業計画策定委員会会議録

日 時：平成25年9月25日（水）14：00

場 所：岩倉市役所 第1委員会室

出席者：委員9名、岩倉市長、事務局7名

欠席者：委員1名

### 【議事概要】

#### 1. 開会

#### 2. 委嘱状の交付

#### 3. あいさつ

市長	<ul style="list-style-type: none"><li>・私の二期目のマニフェストで「子育て世代が住みたいまちNo.1」を宣言している。活力ある、住んで良かった、子育て世代に住んでもらえるまちにしたいと思っている。</li><li>・この計画はそのための重要な計画である。委員の皆様には、活発な議論をいただいて、子どもたちにとって最善の計画となるように力添えを頂きたい。</li></ul>
----	---

#### 4. 委員自己紹介

委員が名簿の順に自己紹介

#### 5. 委員長の選任・委員長職務代理の指名

事務局より委員長に中田照子委員を推薦

拍手により承認

中田照子委員長より、宮川委員を委員長職務代理に指名

拍手により承認

中田委員長	<ul style="list-style-type: none"><li>・今年は大変暑い夏だと思っていたら、急に涼しくなり、大きい台風もあった。不順な天候の中で大変な夏だったが、今後も気候が不順かもしれないが、健康に気を付けてご協力いただきたいと思います。</li></ul>
宮川委員長職務代理	<ul style="list-style-type: none"><li>・下の息子が幼稚園に入園した次の年、平成7年に愛知県の子育てネットワークの資格を取得した。</li><li>・息子が幼稚園に入園した年に国からエンゼルプランが出されて、そのエンゼルプランに従って地域で子育てをしていこうということで、子育てネットワーク養成講座というものがあつた。</li><li>・ちょうどその時、子どもがお世話になったお返しに児童館や公民館でボランティアをさせていただいていたので、勉強しようと思って参加したものでした。</li><li>・専門家ではないが、地域で子育てをきて、若いお母さんたちを見守る立場として、この立場を勤めていきたい。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の流れにそっていろいろなボランティアをしてきたが、どうぞよろしくお願ひします。</li> </ul>
--	--

## 6. 策定スケジュールの説明

資料2に基づいて、山田課長が策定スケジュールを説明

## 7. 子ども・子育て支援新制度の概要とポイント

講師：中田照子さん（愛知県立大学名誉教授）

資料3に基づいて、中田委員長より説明

## 8. 議題

### (1) 子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査について

#### ○調査方法

資料4に基づいて、山田課長が調査の概要を説明

#### ○調査票（案）

資料5に基づいて、山田課長が調査票（案）を説明

委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの内容について何かご意見はあるか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18 ページ問 23, 24 で、学童保育のことを就学前児童の保護者に対して聞いているが、実際に、学童保育の利用を目前にしているお子さんをお持ちの親に対してアンケート調査することは考えていないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5歳以下のお子さんはずぐに学校に入ることになるので、これから利用を考えている段階の方の把握は今回の調査でできると思う。</li> <li>・計画自体は5年間の計画である。1歳の子に聞けば実際には少し先の話だが5年後の利用意向が把握できると考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・去年、子どもが学童保育に入りたての時、学童保育父母の会連絡会がアンケートを行ったとき、子どもとの生活について考えたり想像はしていても、実際には子どもにとっての学童保育がよくわからなくて、雲をつかむような状態で結論が出ない状態だった。</li> <li>・しかし、上の子の学年が徐々に上がって、はじめて「もしかしたらうちはこういう形でこれぐらい必要なのか」とか、逆に「うちは必要ないな」というのが明らかに見えてきて、将来の利用が明確にイメージできるようになった。</li> <li>・確かに、5年後を見据えるということはわかるが、子どもの成長が速いので、学童に関しては現状の人たちの意見をきちんと聞いたうえで計画を進めていった方がいいような気がする。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の小学3年生くらいまでの子どもに調査をすることも考えられるが、今の状態であれば5歳以下の保護者の意向を把握すれば、小学生の兄弟もおおり、実感としての感覚も把握出来るのではないかと考えている。</li> <li>・通常、学童のお母様方からも毎年いろいろご要望を頂いたり、話を聞く機会</li> </ul>

	<p>もあるので、必要であればそこで把握することもできている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何歳の上の子どもがいるかという設問はない。あくまでも「就学前のお子さん」とだけしか書いてない。それでも一括りで結果が出てくるだろうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の兄弟がいる保護者は実感として、放課後の居場所の必要性について具体的なイメージが想定できると思う。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他はいかがか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボリュームがあるが、すべての設問に回答しなければならないということはまずない。20 ページということで他の調査に比べれば少ない方かと思う。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・項目を増やしたいという意味ではないが、国やあちらこちらで「ワークライフバランス」と言っているが、子どもを預けている親としては、育休をとれるかとれないかよりも、毎日の残業の問題の方が大きい。</li> <li>・子育てをしている時にまとまってたくさん休暇をもらうことよりも、とにかく毎日の生活の中で、子どもの送り迎えなどがあるのに残業することが子育ての上では負担になると思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市行政としては、働き方や労働制度については、大企業などのリードがないと難しいのではないかと思う。</li> <li>・一方で、経済状況の中で長い労働時間を強いられているということは認識しているが、その中で「公」として子育て支援をどう充実していくかということが求められていると思っている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつごろ配布の予定になるか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日、承認をしていただくかたちで印刷や準備を考えると、10月中旬ぐらいに配布し、10月中旬ぐらいに回収したいと考えている。調査期間としては2週間ぐらいあれば良いと思っている。</li> <li>・保育園や幼稚園にはご面倒をおかけすることになるが、配布・回収をお願いしたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このアンケートについて、保護者から質問や相談があったときはどうすればよいか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所に連絡していただければよい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人の園児も多いが、外国人世帯への対応はどのようにするのか。外国人用に作るのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は資料として出していないが、日本語を英語にすると、少なくとも 1.5 倍くらいになるので、調査項目を絞り、量の見込みは出せるように把握をしていきたい。</li> <li>・具体的には、外国人の方には、「校区」「お子さんの生年月日」「ご家族の話」「親の就労状況」「就労希望」「現在利用している施設の利用状況と利用意向」「学童保育の利用意向」などを伺う予定である。</li> <li>・日本人用でいうと、問 1、問 2、問 3、問 5、問 6、問 10 と問 11 を簡略化したもの、問 12 と問 13 の簡略化したもの、問 23 と 24 の簡略化したものである。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語で4ページ程度になると考えている。</li> <li>・それをポルトガル語、英語で翻訳する。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人の方はどこの国の方が多いか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラジルの方が多い。フィリピンの方も多い。中国が多い。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うちの小学校は17人外国の児童がいる、岩倉市の中では少ない方である。東小学校は全校児童の3割が外国の児童であり、ブラジルが多い。あとはフィリピンもいる。</li> <li>・たくさんのアンケートで、これを2週間で理解して答えられる方がどのくらいあるかと思う。よく読んで答えていくということは、なかなか日本人の我々でも難しいので、外国人はもっと難しいと思う。</li> <li>・学校でも、言葉が通じない方には、提出物などを配る場合は翻訳をするし、岩倉市の方で通訳をさせていただいている。説明しても日本の言葉は難しいと思う。例えば、出校日なども、母国にそのような習慣がないため、「出校日って何？」と聞かれるような状況である。言葉の理解が難しい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母国に無い制度だと、制度の言葉や、制度自体の理解ができない。できる限り簡単にして、解かりやすくして、質問があれば対応して回収率を上げていきたいと思う。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィリピンの人は英語でよいが、ポルトガル語となるとわからない国の人がいるのではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の方に英語で話しても通じない時もある。どちらかというポルトガル語がメインになるかと思う。なるべく配慮したいと思う。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は学童保育まで計画に入れようということになっている。学童保育の中身については、日本の人たちの中でもまだ十分認識が共有されていないのではと思うところがある。</li> <li>・全体を通して何か意見があれば伺いたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じていることだが「これから何を決めていくのか」ということについて。私の感覚では、団塊の方がどっと退職され高齢者が増えるという大変な時代がやってくる。そうすると、若い人たちが働かなければいけないという状況ができてくる。また、お母さんたちも子育てだけではなくて働こうという意識も出てくると思う。実際に女性も働き続けたい人も増えていると思う。</li> <li>・その中で、子どもがみんな平等に生きていく権利があるし、教育を受ける権利があるということを保障していこう、ということであると思う。</li> <li>・結局は母親が働くために、子どもを地域でどうしていこうかというとき、どこに手厚く補助金を出していくのかという話になるのかな、という感じがする。</li> <li>・アンケートの結果が出てきて、みなさんとお話して補助金だけで済む問題なのか、ソフトの面でなにか地域、市民の人たちにも協力をお願いしないといけないことが出てくるのか、どういう方向で策定されていくのか掴みきれていないので、勉強しながら考えていきたい。</li> </ul>

委員長	<ul style="list-style-type: none"><li>・今言われた中で、補助金だけではだめで、ソフトの問題を考えていかないといけないというのは出てくる可能性がある。お金さえ出せば全部解決するとは考えられない。</li><li>・子どもも一人の人間だからいろいろ複雑で、いろいろな課題が出てくると思う。</li><li>・そのあたりはみんなで知恵を絞って、岩倉に住んでいる人たちが本当に子育てしやすいまちづくりになるようにしなくてはいけないと思う。</li><li>・今日の意見に基づいて、アンケートを作成していただきたい。</li><li>・なるべく外国人の方も参加しやすいように考えていただくことを願います。これで今日の議題は終わらせていただきたいと思う。</li></ul>
-----	--

## 9. その他

次回の会議は1月の中旬ぐらいになると思う。

最終的なアンケート結果の報告をもとに議論していきたい。